

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0272301003		
法人名	社会福祉法人つがる三和会		
事業所名	グループホームおのえ		
所在地 (電話番号)	〒036-0221 青森県平川市中佐渡上石田36-1 (電話) 0172-43-5227		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月27日	評価確定日	平成21年11月12日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 12月 28日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 5人, 非常勤 12人, 常勤換算	11.3人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	9,600~秋冬期12,600 円	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要( 9月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 79.4 歳	最低	56 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘前小野病院 久米田歯科医院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

津軽平野ののどかな環境の中、リビングや居室から岩木山が眺望でき、周囲は収穫の秋にふさわしく黄金色を呈しており風光明媚な立地である。温泉を利用した入浴支援が行われており、利用者の希望に応じた入浴が実施されている。各居室にはトイレ・洗面所が設置されており、プライバシーの保護及び環境整備の面から利用者にとっては十分な配慮がなされていた。近隣の方は収穫された野菜や果物を届けたり、立ち寄る機会も多く、日頃の挨拶はもちろんのこと、地域との関係が良好な状態であり、利用者が地域で暮らし続ける基盤がある。
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題に対しては、職員とともに検討し適切な対応が行われている。情報収集を詳細に行い、利用者本位の意向を汲み取り実践されている。また運営推進会議以外にも、地域の方が月に1回事業所を訪問し第三者の意見を取り入れている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員個々に自己評価を実施している。職員は外部評価の意義や必要性を理解し、評価に前向きに取り組む姿勢が伺える。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の参加者が多く、地域の方と活発な意見交換が行われている。またその意見が反映され、利用者が散歩するための道路も整備された。参加メンバーの意欲も旺盛であり、より質の高いホーム作りを目指して運営推進会議が実施されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	意見箱の設置場所に配慮されたり、それ以外にも家族の意向等が出しやすいうように事業所独自で【希望の処方箋】というシステムを構築している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の一員としての重要性を理解しており、関連な連携が図られている。地域でのごみ拾い、花壇作り、町会の総会にも出席されており、事業所の夏祭りでは多くの住民が参加されている。地域において事業所の果す役割が最大限発揮されている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念を共有していたが、地域との関わりを重視し、利用者・事業所が地域との関係性を継続していきける様、事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	介護室・休憩室に掲示し、いつでも確認できる状況にある。又、理念をもとにケアに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域でのゴミ拾い・花壇作りへの参加や町内の総会等にも出席している。又、近隣住民が収穫物を提供してくれたり、散歩の際には挨拶をしてくれる様になって来ている。事業所での夏祭り時には、多数の地域住民の参加が得られ、子供会のクリスマス会への招待も受けたりと、地域との交流が図られ、相乗効果が得られている。運営推進会議では、認知症の勉強会(ビデオ鑑賞・質疑応答・簡単な問題)を開催し、認知症に対する理解を深めて行くべく活動も、積極的に行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価については、職員全員で取り組んでおり、日常のケアの振り返りをしている。また、改善点に関する取り組みも、積極的に行われている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>外部評価結果の報告、認知症の勉強会の開催や、意見交換が行われ、具体的なケアの改善に繋がっている。また、地域の中で、利用者がより良い生活を送る為の情報を得たり、利用者の為に道路を整備したりと、地域の活性化にも貢献している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>社会福祉協議会・介護保険課等との連携が図られ、事業所の相談事にも的確なアドバイスを得られる関係性が確立されている。また、行政側からの依頼を受けたりと、運営推進会議に止まらない協働関係が保たれている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>実例は無いが必要性を認識しており、前年度には勉強会を実施している。職員がいつでも確認・閲覧出来る様資料が配備され、活用が速やかに行われる体制が整っている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者はもとより、職員全員がその重要性を理解しており、高齢者虐待防止関連法に関する資料が配備され、申し送り等でケアの振り返りを行い、虐待防止に取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>文書を用いてわかりやすく、丁寧に説明し、細部にわたり確認・了承を得ている。今期、7名の新規利用者がいたが、入居後のトラブルも無く経過している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>殆どの利用者の家族は、月1回以上の面会が有り、行事のビデオ鑑賞や口頭での状態報告がされ、金銭面の確認作業も行っている。面会が無い場合は電話で連絡をし、また、体調不良時は速やかに家族へ報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時の声掛け・意見箱設置の他にも、事業所独自の「希望の処方箋」というシステムが有り、それから得た情報をケアに反映させている。又、オンブズマンでは無いが、地域の特定の方が月1回来訪し、家族との会話の中から情報を引き出し、それに向けた対応もされている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者への事前の説明が行われ、新しい職員がスムーズに受け入れられる様、全職員でフォローしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体・事業所内での研修と、年間計画が立案されている。外部への研修参加の人数は限られるが、伝達研修・資料の整備がされ、いつでも閲覧出来る体制が整っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国・県・所在地域のグループホーム協会に加入しており、総会・研修等で交流・情報交換が図られ、ケアの参考にしている。又、今年度は、他事業所の利用者が来訪し、交流を図る等、積極的な活動がされている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の有無に関わらず、事前に事業所内で共有の時間を持ち、不安を取り除く様になっている。その一環として、利用者と共に食事を摂って頂く等の工夫がされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者・職員との関係は対等であると共に、人生の先輩として、敬意を持って接し、そのうえで共に支えあう関係を構築している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の意向や思いが反映されるよう、家族からの情報や、日々の生活の中で把握している。又、センター方式を導入し、積極的なアプローチがされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族の意向を踏まえ、職員全員が意見・情報を交換できる体制が整っており、その人らしいケアプランの作成に向け、3ヶ月に1回のペースで実施されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>困難事例・内服変更等、利用者の状態の変化が見られた際には、その都度モニタリング・カンファレンスを実施し、現状に即したケアプランが作成されている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族・友人の宿泊・病院への送迎・付き添い等、本人・家族の意向に沿った支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医や、入居以前からの主治医と、家族・本人の意向を取り入れた受診がされている。情報の共有がされ、病院受診時に職員の付き添いの支援もされている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居当初から、事業所で可能な対応の説明をしており、家族の了承を得ている。又、重度化した場合には、利用者・家族の意向を汲み取り、母体施設の看護師の協力を得ながら、支援が実践されており、また職員全員で方針の共有が図られている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉がけは優しいトーンで行い、排泄関係等に関しては、羞恥心に配慮しさりげなく支援されている。また、それが確実に行われているか否か、申し送り時等に確認している。記録物の管理については、十分認識されており、プライバシーの確保に繋がっている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出希望のある利用者には職員が付き添う支援がされている。又、食事の準備・後片付けをしたり、裁縫を行ったりと、その人らしい1日・時間が提供されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員と共に食材の下ごしらえや盛り付けを行ったり、食器の後片付け等を行ったりしている。食事中も味付けやメニューに関する話題が行き交い、楽しい時間の共有が出来る。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的にはある程度の入浴予定はあるが、温泉がひかれており、いつでも入浴可能な状況にある為、利用者の意向に沿った支援が出来る。夜間浴に関しても、遅番職員の退勤前であれば対応可能である。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>草取り・裁縫・編み物・食事の準備等、利用者の得意とするものの提供、又、役割意識を持ち、それに対する感謝の意を示す事で、張り合いや満足度の向上に努めている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の中には近隣に自宅がある方もおり、散歩がてら出かけてみたり、徒歩でも行ける猿賀神社の散策や遠方へのドライブ等の支援がされている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の内容・心身に及ぼす影響の把握に努め、関係資料の整備がされてる。また、居室内はベッド柵もなく、開放的な環境である。拘束をしないケアが実践されている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関の施錠をせず、センサーで対応している。裏口等にも鍵をかけないケアが実践されている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防・近隣の協力が得られており、デイサービスとの合同訓練、日中・夜間の避難訓練が実施され、都度検証・見直しされている。今年度は、地震に対応した訓練も計画されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>メニューはデイサービスの栄養士が作成しており、定期的な体重測定も行われている。又、利用者の要望も取り入れたり、近隣の住人からの収穫物の提供がある為、事業所独自の物も工夫して提供している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>予防・対策マニュアルが有り、実践されている。インフルエンザの予防接種も利用者、職員全員が実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい内容)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関からカーペットが敷き詰められ、バリアフリーでの対応がされている。リビングスペース・小上がり・フラットな空間が有り、利用者の好みに応じた居場所がある。又、以前入居していた利用者の年代物のタンス・鏡台が置かれ、絵画がレイアウトされたりと、落ち着いた空間になっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具が置かれていたり、写真・作品が飾られている居室もある。プライバシーを確保しつつ、家族の協力を得ながら、その人らしい居室の工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。